

## 花を咲かせる準備は今 ~ 2月18日(金)校長講話から ~

オアシス広場のハナミズキ、秋には紅葉し、真っ赤な実がたくさん付いていました。まもなく葉が落ち、赤い実だけが青い空に映えていました。1月になっても、まだたくさん付いていました。

2月3日節分の日に、オアシス広場のハナミズキを改めて見たところ、ちょうど最後の一粒の実をヒヨドリがついばんでいくところでした。ですから、今は一粒の実も付いていません。



実をついばむヒヨドリ

2月15日の大雪の日、よく見ると、葉も実もなくなったハナミズキの木の枝先に、大きな芽が、寒さに耐えながら育っていました。先のとがった芽は葉、タマネギのような格好をした芽は、春に大きな花を咲かせる花です。花芽の中はどうなっているかということ、もう花を咲かせる準備が整っています。暖くなるのをじっと待ちながら力を蓄え、寒さの中で少しずつ着実に花を咲かせる準備をしているのですね。

さて、卒業式まで登校する日数は、20日となりました。3学期が、そして、学校の1年があとわずかです。さあ、皆さんは、1年間学んだことを力に変え、春には大きな花を咲かせる準備はできていますか？



春、満開のハナミズキ

6年生は、4月から中学生。新しい学校で新しい友達や先生に出会い、中学生としての、自分の花を咲かせるため、残された20日をやり残したことがないように、そして、胸張って卒業できるように過ごしてください。

1年生、4月には新1年生が77人も入学してきます。お兄さん、お姉さんになる準備はできていますか？ 1年のまとめをし、2年生の花を咲かせる準備をしていきましょう。

2年生、3年生、4年生、5年生も、それぞれ春、大輪の花を咲かせるために、残された20日を1日1日大切に過ごしていきましょう。

春に咲くハナミズキは、白かな？ それとも赤かな？ 皆さんが咲かせる大きな花はどんな花になるか、ハナミズキとともに、楽しみにしています。

## 来入児保護者会（2/15）校長講話「3つのお願い」

### 1 学校生活への楽しみを膨らませてください。

保護者の皆さんの小学校時代を思い返して、楽しかった友達との出会いや担任との思い出を話していただき、子どもさんもニコニコとした顔で聞けるようにしてください。また、よい行為を認め、「お友達に喜んでもらえるね」「先生にも褒めてもらえるね」の言葉がけをお願いします。くれぐれも「そんなことをすると、先生に怒られるよ」は、



入学式を楽しみに待っています！

やめてください。学校の先生は優しく、ただ叱るばかりということはありません。

### 2 「早寝・早起き・朝ご飯」を身につけさせてください。

9時には寝て、6時には起きる習慣づくりをしてください。登校時間は早く、歩いての登下校は体力が必要です。また、授業に集中するには、エネルギーが必要です。そして、家まで帰ってくるまでの力が必要です。今は、幼稚園、保育園から帰ってきて、外遊びなどで疲れるまで運動させ、疲れて寝てしまうような生活をさせましょう。



### 3 自己判断・自己決定をすることを増やしてください。

登下校は、一人になることもあります。自分の命を自分で守ることが、幼稚園や保育園との違いです。毎年、1年生にヒヤッとするような事故があります。入学前に通学路と一緒に歩き、「車があそこまで来ていることは渡れない」「この交差点は見通しが悪い」等、危険回避の方法を具体的に身につけさせましょう。

最後に、「9時になったよ、もう寝なさい！」から「9時になったよ」と告げるようにしてみてください。親の言葉で動く子どもから、自分で判断して行動できるようにしていきましょう。こうすると、声かけも優しくなり、子どもにも「ありがとう」の気持ちが生まれます。ご入学をお待ちしています。



児童会長より  
本部活動報告

## 児童総会(2/16)で活動の締めくくり

【学校長の話】児童会長の大きな「はい」の返事で始まった児童総会。「いつでも元気、協力、なかよし」のなかよしは、最後までもう一步がんばりたいとあいさつしてくれました。すべてが終わりではなく、上を目指してがんばろうとするよさを感じました。委員会の取組への意見・質問では、「この活動を続けてほしい」という肯定的な発言、「新たにこんなことをしてほしい」という建設的な意見が出されました。それに対する委員長の回答も的確でした。1年間の活動の中で、自分で判断する力がついてきていることに感心させられました。6年生は締めくくりとなり、5年生以下に引き継ぎがされました。6年生の一生懸命の姿を目に焼き付けておき、新しい屋代小をつくっていきましょう。